

# 抗原簡易キットの使用方法

## ■ キットの保存

- ・キットは、直射日光を避け、1~30℃で保存してください。
- ・幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ・反応カセットの入ったアルミ袋は、使用前まで開封しないでください。
- ・キットやチューブの溶液は、皮膚への付着・目や口へ入らないよう注意してください。

## 1 検査用品の準備

- 純棒
- チューブ
- 滴下チップ(キャップ)
- 検査キット

市町村から配布

- 手袋(可能な限り着用)
- ゴミ袋
- タイマー

各家庭で準備



## 2 検体採取

純棒を用いて、鼻腔ぬぐい液を採取します。

①純棒を鼻孔入り口から 2cm 程度、粘膜部分をぬぐうようにしてゆっくり挿入します。



②純棒を5回程度ゆっくり回転させます。



③5秒程度静置し、綿球を十分湿らせた後、そっと引き抜きます。

純棒挿入後  
5回転し、  
5秒程度静置



## 3 検体の抽出

① チューブの蓋(シール)を、中の液がこぼれないよう注意しながらはがし、純棒をチューブに浸します。



② チューブの周りから綿球をはさみ、もみながら

純棒を入れて10回  
程度回転

綿棒を10回程度回転させます。



③ 綿球から液をしぼり出しながら、純棒を取り出します。  
純棒はゴミ袋に処分します。



④ 滴下チップ(キャップ)をチューブにはめ込み、横にして、

キャップを  
はめてから  
5分間待つ



5分静置します(タイマーなどで時間をはかってください)。

## 4 2滴たらす

① 5分経ったら、滴下チップ(キャップ)を付けたまま逆さにし、チューブを軽く押し、

液をキットの紫色の検体滴下部に2滴たらします。

最初に泡が出る場合は 1滴ゴミ袋に捨ててから行ってください。

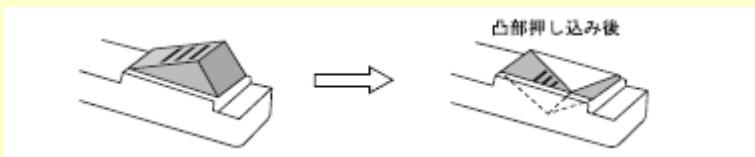
キットとキャップの先端を 1cm 以上離してたらしてください。

↓

② オレンジ色のボタン(凸部)を上から

押し込み、凹ませます。

(すぐに押し込まないと反応しません。)



2滴  
たらす

すぐに！



## 5 反応

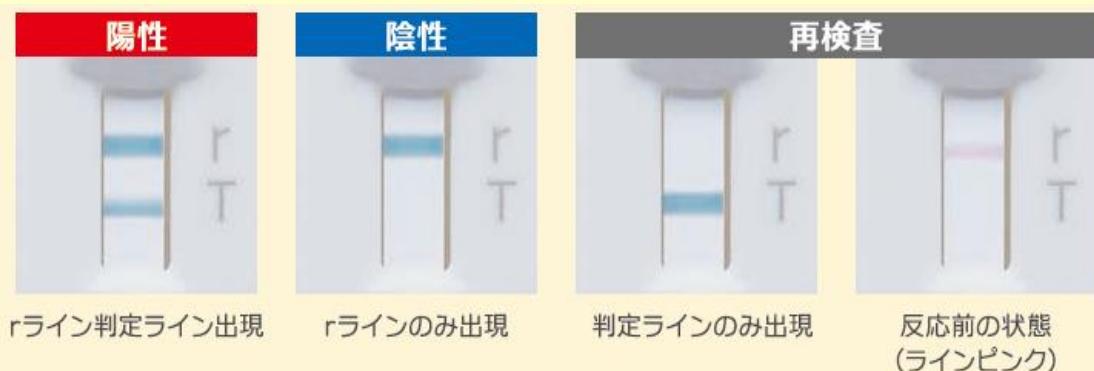
30分間待ちます。

(タイマーなどで時間をはかってください。)

## 6 判定

### ■ 判定例

r: レファレンスライン  
T: 判定ライン



○陽性 : rとTの両方に青色のラインが出現した場合

○陰性 : rに青色のラインが出現し、Tに何もラインが出現しなかった場合

○再検査 : rに青色のラインが出現しなかったり、反応前のピンク色ラインのままの場合、反応が正常に行われなかった可能性があります(判定不能)。キットがもう一つある場合は、検査方法を再確認の上、もう一度検査をお願いします。

### ■ 参考資料

検体採取や検査の方法は、メーカーのホームページに動画で掲載されて  
いますので、御確認の上実施してください。

【富士レビオ(株)】

<https://www.fujirebio.co.jp/products/espline/sars-cov-2/index.html>

